

## 2018年度 埼玉県バスケットボール協会U12 カテゴリー部会

### 埼玉県ミニバスケットボール連盟 会長杯・理事長杯準備部会 議事録

【日 時】 2018年11月11日(日) 18時00分～20時00分

【場 所】 春日部市民体育館談話室

【出欠名簿】 役員総数 17名 出席 13名 欠席 4名

|       |   |       |   |        |   |        |   |       |   |
|-------|---|-------|---|--------|---|--------|---|-------|---|
| 有賀 千歳 | ○ | 篠田 好恵 | × | 小山 高広  | ○ | 外尾 直己  | ○ | 田村 則夫 | × |
| 大柴 幸一 | ○ | 鈴木 康司 | × | 竹田 真太郎 | ○ | 波多野 隆史 | ○ | 栄田 真志 | × |
| 藤井 博美 | ○ | 北原 信介 | ○ | 岩本 健司  | ○ | 矢嶋 吉雄  | ○ | 星野 延之 | ○ |
| 小泉 登  | ○ | 矢島 伸彰 | ○ |        |   |        |   |       |   |

大会運営組織として、県ミニバスケットボール連盟からの出席者

副理事長:小林 裕明

#### 【報告事項】

##### 1. 部会長からの報告(全国部会長会議の内容について)

※以下の内容については全て12月下旬に実施されるJBA理事会の決定を経て、埼玉県U12カテゴリーでの対応(適用の有無)について再検討する。その審議は1月27日の臨時部会にて決定する。

##### (1)リーグ戦構想について

- ・次年度の構想を2019年2月末までに提出すること。
- ・チーム数が多い県での協議で実態を検証したところ、JBAが提案する構想では事実上難しい(既存の大会システムを変更する必要がある)ことが判明。
- ・埼玉県内で実施するには部会内に新たなPTを早期に発足する必要がある。

##### (2)登録について

- ・登録の自由を容認する(学校単位の枠組みは廃止して、登録は自由とする)…2019年4月実施予定
- ・登録は年度毎に行う。年度毎のチーム移動は「移籍」に該当しない。  
「移籍」=年度内でのチーム間の移動
- ・特別な事情があればチーム間での移籍を認める。しかしながら強化目的は認めない。(従来通り)

##### (3)ブロック大会の存続について

- ・存続の方向

##### (4)競技規則の変更(JBAが推奨及び導入を指示する案)

- ・リングの高さ(5年生以上)305センチ
- ・6号ボールの採用(5年生以上) 以上2点の実施時期は未定(設備などの環境が整い次第)
- ・タイムアウトの請求回数(前後半2回ずつ)
- ・ショットクロック24秒(14秒) 2019年度移行措置 2020年完全実施
- ・8人での試合成立(3Q連続は不可) 2019年度実施目標
- ・8秒ルール、バックパス、3ポイントルールについては導入が好ましくないとのJBA判断

##### (5)指導者の資質(暴力、パワハラ、セクハラ等)

- ・教員以外には「懲戒」権限はない。ミニバスの指導者には「懲戒」権限はないので練習中や試合中などに「懲戒」を課すことはできない。この点について県内指導者への早期啓発が必要。

## 2. 各担当からの報告と確認

### (1) 副部長(外尾)

- ・フレッシュ大会の開催方式と日程について再度内容を確認し徹底。  
(確認した内容は11月10日開催の第3回部会での決定事項通り)

## 【審議事項】

### (1) 会長杯について

#### ・参加チーム数

男子51(全国大会推薦資格なし21) 女子54(同資格なし14)

#### ・競技方法

男子及び女子ともに、全国大会推薦資格なしのチームも混在したブロック(4ブロック)に分割したトーナメント(リーグ)にて実施する。決勝は4チームのリーグ戦で行う。

#### ・全国大会への推薦

全国推薦は会長杯の勝敗(資格なしチームとの対戦も含む)で決定する。

#### ・指導者資格について

指導者資格有無については大会エントリー時点にて判断する。現時点からの追加登録は不可。ベンチ入り可能な「指導者」の定義については県大会と同様の扱いとする。各地区責任者は各地区の指導者会議等にて必ず徹底する。

#### ・審判の派遣日程について

大会3日目から派遣を実施する。2日目までは各チーム帯同審判にて対応とする。

#### ・帯同審判の定義等について

帯同審判については「ミニバス(U12カテゴリー)の登録審判員」であること。

上位資格であっても、他のカテゴリー(U15、U18、社会人など)の登録審判は不可。

帯同審判員の資格はE級資格者でも可とするが、原則としてD級以上が好ましいことから自チームに適切な審判員が不在の場合は他のチーム(U12カテゴリーに限る)からの応援で、自チームの責任において帯同審判員を手配することは許される。また、当然のルールであるが、自チームにD級以上の審判員が複数存在する場合は、原則として上級者が帯同審判として担当することを義務付ける。

#### ・マンツーマンコミッショナーの対応

県MC担当からの派遣により決勝リーグのみとする。決勝リーグ以外の試合はMCを立てない。

万一、決勝リーグよりも前の試合にて問題ある行為が発生した場合は、会場責任者からMC担当を通じて部会長(理事長報告)とし処分の有無を判断する。

#### ・テーブルオフィシャルズの対応

県TO担当からの派遣により、必要に応じて派遣TOを手配する可能性がある。試合のタイムテーブルを検証し、その必要性についてはTO担当に一任する。

・出場するJBA選手登録について

JBAマイページから出力される「**チーム所属競技者一覧表**」(PDF版)にて、大会初日(各会場1回戦)から確認を義務付ける。確認する担当者は会場責任者とする。

参加チームは「**チーム所属競技者一覧表**」(PDF版)の全試合当日持参を義務付ける。

万一、参加チームが持参を失念し、当日の試合終了時間までに「**チーム所属競技者一覧表**」(PDF版)での選手登録確認が不可能であった場合は、当該チームの全試合を没収試合とする。

この内容については、各地区責任者が各地区での指導者会議等にて厳格に徹底し、かつ競技担当は、この内容を文書化し、県ミニ連ホームページへ掲載することで完全周知を図る。

**【承認】**

(2)理事長杯について

・参加チーム数

男子205 女子237 (不参加 男子12 女子15)

・競技方法

男子ABC3ブロック及び女子ABCD4ブロックに分割したトーナメント(リーグ)にて実施する。

・審判の派遣日程について

最終日のみ審判担当からの派遣とする。

・マンツーマンコミッショナーの対応

最終日のみMC担当からの派遣とする。

・テーブルオフィシャルズの対応

理事長杯については日程上問題が無いことから、TO担当からの派遣はしない(参加チームでの対応)こととする。

**【承認】**

以上

文責:外尾 直己

※次回以降の部会開催日程

2019年 1月27日(日) 臨時部会(追加開催)

2019年 2月9日(土) 第4回部会